

弓道ながの

第 3 号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL 0269 (62) 4121
編集：県弓連広報部会
印刷：㈱長野企画会議

無発の発を求めて

長野県弓道連盟

顧問 大久保 秀雄



私が「無発」という言葉を初めて聞いたのは、昭和三十六年(一九六一年)八月林県弓

連会長から派遣を受けて箱根誠心弓道場での全弓連主催の第六回中央指導者講習会に参加したときのことでした。

講師陣は、今はずでに他界された宇野要三郎先生、村上久先生、福原郁郎先生、金子清則先生、赤井一夫先生で受講者は全国各地から参加の教練士二十八名でした。

会長の宇野先生は講義の中で「今回は私の五十八年間の修業経験から得た弓道の真髄を申し上げる。」との前置きがあって「射即礼」と「射法八節」

について詳細に解説して下さいました。先生はその解説の中で離れについて今回は特に「発」のない離れを皆さんに要求すると力を込めて話されたのです。即ち離すという作意を加えずに発射せよということでした。

これには受講者一同大いに戸惑ったようです。それを証拠には射技指導の場では大多数の者が「発あり！ダメ」と何回も先生の口から叫ばれたものです。



長野県弓道連盟

ホームページ好評開設中

<http://kyuren.cool.ne.jp>

御存知の方も多いと思いますが、先生は的中率も素晴らしく良く、また会の長さについては誰しも驚く程で平均三十五秒といわれ、しかも気力充実の射でした。長時間ゆるみなく張り合つての射は、いつ離れるのか観る者をして固唾を飲む程にひきつける射でした。長いときは四十秒を超えるときもあり、それでの中するのでびっくりしたものです。

一体、この長い時間に何を考えているのだろうか、また息合いはどうなっているのだろうかと疑問が湧いたものでした。

座談会の折に恐る恐るこのことについて聞いたところ、先生いわく「ひたすら心身弓の合一を念じているのだよ。」と、そして息合いについては「私は歯をくいしばり静かに息を吸い込みながら全力で会に矢を送り、吸いこんだ息を先ず丹田に収める。このときに息詰りを生じ苦しくなったら僅かに吐くこともあり、また更に僅かに吸い込むこともある。その後は歯のくいしばりを次第に強くして丹田を安定させ、伸合に徹し胸の中央で開くんです。身体と精神と息合いの三点が揃ったときに初めて心身弓一体の射が完成すると考えている。」といわれたので

何程、たちについては何んとかやれるかも知れないと思つたものですが、それにしても作意なくして離すことができるかとのギモンがあつて成果があがらず帰つた記憶があります。阿波範士の教えにも「離れるまで待て」ということがありますが、これも無発に通ずるものでしょう。

要は、離れは作意を用いず諸要所の完成により自ら誘発される分れが実現できればよいということでしょう。

射技修練上最もむずかしい事柄でもあり、道を極める者にとつて宿命ともいふべき難問でもありましょう。

◎全日本教職員選手権大会

長野県教員二度目の優勝!! (2頁)

第47回高校総体

伊那西高校 四位入賞!! (4頁)

弓道修練の心得などについて

長野県弓道連盟副会長

範士八段 栗林 實



弓道誌の四月号に「平成十三年度講師研修会における検討事項について」と題して会長

鴨川乃武幸先生の

記事が載っています。もう一度よくお読み頂いて、修練の基にして頂く事が涵養である。一に入場の方法、二に執弓姿勢について、三に肌ぬぎの動作について、四に肌ぬぎ終了後の正面に向き変える動作、五に矢番えの動作、六に取懸けする方法、七に退場の方法について、以上七項目に渡って、指示されております。尚結びに以上申し上げましたことを念頭に晴れの場でそれが活かせるよう日頃の修練に臨んでいただきたいと思ひます。また、講習会等において、単に射技研修にとどまるのではなく修練することの意味を今一度見直し、お考えいただく機会として、実りあるものにしていただきたいと思います。と論されております。先生の指示された七つの留意点は全部すでに講習

習等で御存知の事と思ひます。しかしそれでよいのかと反省して頂きたい、結びの言葉にあるように日頃の修練に取入れている人は大変少ないと思ひます。知っているだけでは何の役にも立ちません。反復修練することに修業の意義も見出せるものと思ひますし、晴れの場でそれが活かせるものと思ひます。

私自身日頃の稽古で射技ばかりに拘って体配の修練は疎かで反省しております。もう一度四月号の巻頭の今月のことばを開いて見て下さい。「けじめ」の題で林文夫先生の記事が載っています。

「浜までは海女も養着る時雨かな」物事は常に一つ一つの事例を大切に、きつちりと納めることが、生活を豊かにします。とも射即人生。生活にけじめをつけ、物事をきつちり修めることは、一箭の行射と同じです。まさしく正射必中そのものです。とも云われております。私は鴨川先生及び林文夫先生の書を読んで身に戦慄が走る程感動を致しましたと同時に猛反省をせざるを得ませんでした。鴨川先生の教えの七つの指摘をしつかりと念頭に置き、「けじめ」のつくまで修練を重ねる

べきかと覚悟をする者です。皆さん方も、もう一度お読み頂き弓道修練に役立てて頂くよう切望致します。

宮澤廣先生・古澤博先生
全日本弓道連盟専門委員会の
委員長に選任される

全日本弓道連盟は、7月3日鴨川会長が再選されてから初めての専門委員会が開催され、専門委員会規程の改訂と委員の選任が理事会で承認されたことが報告された。

長野県からは、指導委員会の委員長に宮澤廣先生、競技委員会の委員長に古澤博先生がそれぞれ選任された。

今後は、会長の諮問に答えていくとともに、専門委員会として積極的に独自の提案をしていくなど、委員長としてのリーダーシップと活躍が期待される。

全日本教職員選手権大会

長野県教員二度目の優勝

第33回全日本教職員選手権大会が8月12、13日福島県郡山市開成山弓道場で開催され全国から380名の学校教職員が参加した。

男子団体の部で長野県Eチーム(中

田真也・塩澤忍・古川忠司)は一昨年に続いて二度目の優勝に輝いた。写真。



2年振り2度目の優勝に輝いた長野Eチーム

長野県関係成績

■女子団体(12射)

長野A(山崎・村瀬・原) 3中

■男子団体(12射)

長野A(清水・田中・増田) 5中

長野B(市川・上平・佐々木) 6中

長野C(高砂・原・細田) 5中

長野D(飯田・松倉・蟻川) 6中

長野E(中田・塩澤・古川) 9中

(決勝トーナメントへ)

■女子個人決勝進出

村瀬美奈子(長野女子) 2中×



教職員大会 8/12・13日 蟻川匡史全日本教職員弓道連盟会長(長野県弓道連盟副会長)による矢渡し

■同 準決勝

長野E 3-1 三重A

(中田2 塩澤1 古川0)

■同 決勝

長野E 4-4 熊本B

(中田2 塩澤1 古川1)

射 詰

○ ○ × 中田真也

(長野E) ○ ○ ○ 塩澤 忍

○ ○ ○ 古川忠司

○ ○ × 原 晋也

(熊本B) ○ ○ ○ 徳永惇一

× ○ ○ 堀田忠勝

○中田選手(岡谷南高)

去年は自分の失敗で成績が挙がりませんでした。今年はずっと引けました。

○塩澤選手(旭ヶ丘中)

二回目の優勝はきつかった。特に予選の一順目と決勝の競射、一本の大切さを思い知らされました。

○古川選手(飯田高)

夏休みに三人で稽古した成果が現れました。二人のおかげで勝てました。

■男子個人決勝進出

上平正明(飯山北) 3中×

高砂健司(豊科) 3中×

中田真也(岡谷南) 3中×

塩澤 忍(旭ヶ丘中) 3中○×

古川忠司(飯田) 3中○ ○ ×

小林博正(小諸) 3中○ ○ ×

■男子決勝トーナメント一回戦

長野E 5-3 岩手A

(中田2・塩澤2・古川1)

■同 二回戦

長野E 4-3 青森B

(中田2 塩澤1 古川1)

弓 仲 間 紹 介

野立ち道場からの出発

白田町弓道協会

軍隊からシベリヤ三年を経て、ガタの日本へ昭和二十三年に復員、二、三年して小諸の懐古園に行ったら、ちょうど大会で懐かしい道場は、大勢の参加者でにぎわっていた。

「世の中には、暇な奴がいるもんだ。」と思っていたら、学校時代の高橋先生がいて「おい、君も始めないか。」と言われた。背囊一つで叔父の家に行きながら「やみ屋」でもしなければ食って行けないかと案じるころだった。それから十年ほどして、家内の叔父が海軍で引いていった弓(永野一翠)を頂いて、同じ町の関口さん(後に京都で優勝と錬士と六段を一緒にもらった)とバスやオートバイで小諸懐古園の道場に通って、十日ほどで審査(無指定)を受け、大日本武徳会二段を全日弓連の二段に認定してもらい、ぼつぼつやっているうちに、支部をつくらうということになり、戦前に弓をやった人や、青沼の弓道部もさそって、支部をつくり、その席で急に支部長が当てられた(三段だ

った。

そこで、せめて南佐久にも塚(あづち)だけでもと、いろいろ運動した結果、白田町に頼んで間口五間の、なめこ屋根の粗末なものだが塚を作ってもらった。更に、町の教育委員会から青少年広場の補助金があるので、広場と一緒にわずかな予算だが道場が作れないかと話があり、野天よりはよからうと、間口四間、奥行三軒のプレハブ板の間、昔でいう「射小屋」にびったりする道場が出来、おかげで青沼や隣接町村、職場などからの会員が増えた。その後同じ広さの控えを作ってもらって、巻藁が引けるようになった。

佐久市が分かれて会員が減り、新しい会員も得られず、市町村合併の話もあり、もう少し南佐久支部で頑張ろうと言う所だ。(日暮 千曲)



野立ち道場開き祝射会

第47回高校総体

伊那西高校四位入賞

二〇〇二年茨城総体は8月2日〜5日茨城県武道館弓道場で開催され、団体競技女子の部で伊那西高校が四位に入賞した。

長野県関係の成績は次の通り

◆個人男子の部

- 田中光太郎(志学館) 予選四射三中 準決勝四射二中
- 上條 友寛(豊科) 予選四射皆中 準決勝四射二中

◆個人女子の部

- 小笠原朋子(長野西) 予選四射二中
- 林 希美(岡谷南) 予選四射二中

◆団体男子の部

- ・決勝トーナメント一回戦
 - 下諏訪向陽 19-11 高松商業(香川)
 - 宮澤 徹 四中
 - 森 三四郎 四中
 - 小柄 洞光 四中
 - 斉藤 栄喜 四中
 - 矢崎 竜一 三中
- ・決勝トーナメント二回戦
 - 下諏訪向陽 12-20 加治木工業(鹿角島)
 - 宮澤 徹 三中
 - 森 三四郎 二中

- 小柄 洞光 二中
- 斉藤 栄喜 四中
- 矢崎 竜一 一中



茨城総体で4位入賞した伊那西チーム



20射19中でベスト16に進出した下諏訪向陽チーム

◆団体女子の部

- ・決勝トーナメント一回戦
 - 伊那西 13-12 盛岡第三(岩手)
 - 上村 暁美 一中
 - 田村みどり 三中

- 後藤真由美 一中
- 福沢留美子 四中
- 加藤 良子 四中

・決勝トーナメント二回戦

伊那西 14-13 豊橋商業(愛知)

- 上村 暁美 三中
- 田村みどり 二中
- 後藤真由美 二中
- 福沢留美子 三中
- 加藤 良子 四中

・決勝トーナメント準々決勝

伊那西 14-12 新屋(秋田)

- 上村 暁美 三中
- 田村みどり 一中
- 後藤真由美 三中
- 福沢留美子 四中
- 加藤 良子 三中

・決勝トーナメント準決勝

伊那西 12-16 出雲(島根)

- 上村 暁美 二中
- 田村みどり 一中
- 後藤真由美 三中
- 福沢留美子 四中
- 加藤 良子 二中

・三・四位決定戦(10射)

伊那西 5-8 北条(愛媛)

上村 2・中島 0・後藤 1

福沢 1・加藤 1

弓道用語・教歌

◆あずさ 梓(落葉高木)

「あずさ」なる樹木は「みづめ」一名「よくそみねばり」であり、樺木科に属する「みづめ」である。

材質堅く弓材として好適なことから、古代よりの所謂「梓」であると考えることが至当である。

丸葉と細葉の二種で、地方によつてよくそみねばり・よくそあずさ、細葉のものは、みづめ・いたやみねばりとも呼ばれている。

また梓弓という詞は、多くの詞の、「枕詞」として用いられている。

梓弓には弦を張り、これを引いて、その性能を現わすことから、射・射る・引く・張る等の枕詞、矢を放てば、弦音がすることから、矢・音または音の枕詞としても用いられた。

梓弓挽手も見えぬ朝嵐 放れて後の音の冷たし



高知国体結果

少年女子遠的 6位入賞!!

○9月20日〜24日/高知市弓道場

▼成年男子遠的予選(24射)

長野113点 落選

▼少年女子近的予選(24射)

長野14中 落選

▼成年男子近的予選(24射)

長野13中 落選

▼少年女子遠的予選(24射)

長野117点(三村49点・伊藤40点・安原28点) 6位で決勝へ

◎決勝トーナメント1回戦(12射)

栃木28 26 長野

(三村5点・伊藤16点・安原5点)

2点差で4強進出逃す

◎同5位〜8位決定戦(6射)

長野27点(三村10点・伊藤14点・安原3点) 6位決定

少年女子選手(高校選抜チーム)

三村 典子(松本美須ヶヶ丘高)

伊藤 綾(赤穂高)

安原 美紗(長野日大高)

監督 北嶋 晋(赤穂高)

第57回「よさこい高知国体」

を繰えて

長野県弓道連盟強化部長

外 園 公 毅

国体本会場のあの緊張感、国体独特のもので、それに打ち勝つには、強靱な精神力を養うと共にアガッテいても体が自然に反応してくれる程の誰にも負けない練習量に裏付けされた自信が必要です。

選手は緊張の中でよく冷静に戦ってくれました。堂々と四射皆中した少女に「どうだった緊張したか」と聞くと「もうめちやくちや緊張しました。足

がガクガクしました」と上気した顔で言いました。それでも皆中、大したものです。

成年男子は残念ながら予選敗退でした。結果はベストではありませんでしたが選手は現状のコンディションの中で精一杯戦ってくれました。

少年女子は近的は予選通過で済ませましたが、遠的は予選2回目最後の4本目に3人が9、9、7点という奇跡的の中を見せ1点差で予選通過を果たしました。結果的には決勝トーナメント1回戦で栃木に惜しくも破れ、5〜8位決定戦では底力を見せ6位に

食い込む健闘を見せました。少年女子は新聞に「潜在能力のある選手」と書かれました。どの県にも負けない体配・射形は我々の自慢でした。若干潜ったままで浮上できませんでしたがこのままで終わる選手ではないことは事実、将来を大いに期待したい。

我々強化部は単年度の成果を目指しながらも中りさえすればどんな射形でも、というのは長野県は求めない、このことは古澤県弓連会長を初め山川強化部担当副会長、強化部員が一貫して根底に置いていることです。それと優れた選手を発掘してその選手が弓道を続けてくれるようにすることです。それには高校生の指導の強化を図ることが急務です。指導の質を真剣に考えなければならぬのではないのでしょうか。そうしないと今の長野県のように優れた先達が続くものがないという衰退の時期が続くのは必至です。

負けて涙する選手に声をかけるのはつらい。四種別すべての種目で「よくやった」と声がかける時が来ることを念じて、いや強化部だったら必ずできる。と自負して、もう来年に向けてスタートしています。



少年女子遠的6位入賞 三村典子、伊藤綾、安原美紗(左から)



ご声援ありがとうございました。

第53回全日本男子弓道選手権大会

○10月4日〜6日/全弓連中央道場
大会は本年も好天に恵まれ、すばらしい大会となった。

男子は石井勝之選手(千葉県)が初優勝で天皇盃に輝いた。

長野県関係の成績(競技は採点制)

第一次選考(一手2回)

古川忠司選手 1386.0点 59位

1回目 ×○ 681.4点

2回目 ○○ 704.6点



土川俊市選手(二次選考)

土川俊市選手 1430.2点 14位、二次へ

1回目 ○× 710.6点

2回目 ○○ 719.6点

第二次選考

土川俊市選手 1422.0点

1回目 ×× 705.0点

2回目 ○○ 717.0点

23位で惜しくも決勝進出ならず

第35回全日本女子弓道選手権大会

○10月4日〜6日/全弓連中央道場

女子優勝は斉藤往子選手(東京都第

一)第27回大会に続いて、2回目の優

勝で皇后盃に輝いた。

長野県関係の成績(競技は採点制)

第一次選考(一手2回)

遠藤由美子選手 1377.4点

1回目 ×× 683.0点

2回目 ×× 694.4点

高地美佐子選手 1373.6点 48位

1回目 ○○ 687.2点

2回目 ×× 686.4点

決勝戦には高円宮殿下、同妃殿下のご臨席のもと、各選手は真剣に行射に

取り組み、日頃の修練の深さを偲ばせる最近にないレベルの高い立派な大会だと感じた。

選手の皆様大変ご苦労さまでした。

全日本弓道選手権大会
北信越ブロック予選会

○7月28日/上越市弓道場

○参加者・各地連男女各4名

長野県のみ男女各6人、合計44名

◇競技方法

・予選、各自一手2回(4射)を行い

採点制により上位10名を選出する。

・決勝、各自一手3回(6射)を行

的中制により男女各上位3名を、北

信越ブロック代表として全日本選手

権大会に出場する。

◆男子決定戦(6射)

一位 柴田 利治(富山) 6中

二位 土川 俊市(長野) 5中

三位 道越 良治(石川) 5中

◆女子決定戦(6射)

一位 山岸 妙子(石川) 6中

二位 高地美佐子(長野) 4中

三位 新保真由美(新潟) 3中

小池梨枝子(長野) 3中

鷹野 昌子(長野) 3中

審査合格者

○東北臨時中央審査

◆錬士の部 7月7日 仙台 松澤 みさ子(須高)

○関東臨時中央審査

◆六段の部 9月15日 さいたま 押金 孝(上小)

○北信越臨時中央審査

◆錬士の部 9月28日 大島町 徳竹 光春(中高)

審査合格者(地方)

○9月8日/中野市営

初段7名

二段2名

高橋 咲子・中川 裕美

参段10名

武田 礼子・櫛 拓也・廣田 直之

原田 泰・鈴木 司・白石 静子

小林 正広・金子 恵美・谷 京子

酒井みどり

四段3名

大日向 淳・金子 俊一・蟻川 修史

―審査部―

全信州弓道支部対抗競技会

—上伊那支部

遠近ともチームワークの勝利—

○8月25日/県営飯田弓道場

○参加者 250名

団体・全日本選手権出場選手の壮行会終了後競技を開始した。

競技は近的・遠的とも1チーム60射を行的中上位から順位を決定した。

成績は次の通り

▼近的競技

◎団体*1位 上伊那支部 46中

水田明美・小澤剛志・春日奈美子

山岸稔員・久保田智恵

*2位 飯伊支部 38中

田畑隆夫・松枝敏弘・塩沢 忍

林 玲子・牧内和宏

*3位 上小支部 37中

重田 功・小林博正・高地美佐子

押金 孝・宮川 登

*4位 諏訪支部 35中

今井文明・丸山清一

志村 仁・山田昌代

相澤勝浩

*5位 長鉄支部 35中

新津一夫・踏分英世

永熊洋保・宮澤俊幸

中嶋 勁

◎個人

1位 小林 博正四段

(上 小) 11中

2位 春日奈美子参段

(上伊那) 10中

3位 山岸 稔員四段

(上伊那) 10中

▼遠的競技

◎団体

*1位 上伊那支部 39中



小林博正選手

水田明美・小澤剛志・春日奈美子
山岸稔員・久保田智恵

*2位 長野支部 31中

工藤弘行・棚田千鶴・大蔵 務

小池梨枝子・桜井耕三

*3位 飯山支部 31中

石田 真・清水和代・大口晴男

水野悦子・小山喜代二

*4位 諏訪支部 30中

小池正夫・相澤勝浩・志村 仁

鵜飼克博・長尾真樹子

*5位 佐久支部 30中

道上英子・篠沢英次・植松 守

倉島 裕・山浦 博

◎個人

1位 春日奈美子参段(上伊那) 10中

2位 寺島 信夫六段(松本) 10中

3位 土川 俊市七段(木曾) 10中

長野県勤労者弓道選手権大会兼
第49回全日本勤労者
弓道選手権大会長野県予選会

○8月18日/駒ヶ根市弓道場

○参加者 70名

成績は次の通り

▼団体リーグ戦(上位4チームによる)

1位 J R 東日本長野支社(3勝0負)

新津一夫・氷熊洋保・田中健太郎

長谷部正文・踏分英世

2位 中部電力飯田(1勝2負)

木村匡房・唐沢 章・木下克彦

大嶋 彰・牧内和宏

3位 北信教員(1勝2負)

飯田秀樹・藤村雄一・松倉 志

外山勇一・古澤金蔵

4位 セイコーエプソン(1勝2負)

山崎泰志・小越 剛・木下禄章

上條 寛・内山喜照

▼個人

(団体予選8射6中以上による競射)

1位 木下禄章(セイコーエプソン)

2位 新津一夫(J R 東日本)

3位 飯島 昭(中部電力長野)

団体の上位2チームは11月22〜24日

浜松市で行われる全国大会に出場しま

す。ご声援ください。

—競技部—



上伊那支部



2位 中部電力飯田



1位 JR東日本長野支社

◎平成14年度錬士研修会◎

○8月31〜9月1日/飯山市菅弓道場

○参加者 30名

講師は、県弓連会長の範士八段古澤博先生と教士七段の桜井耕三先生であった。

厳しい暑さではあったが、県下各地から熱心な受講生が参加した。写真。特に本年は女性の参加者が例年より多く、華やかな中にも真剣に取り組む姿が見られ、二日間にわたる充実した内容の研修であった。



私と弓道

上伊那支部 竹村貴子



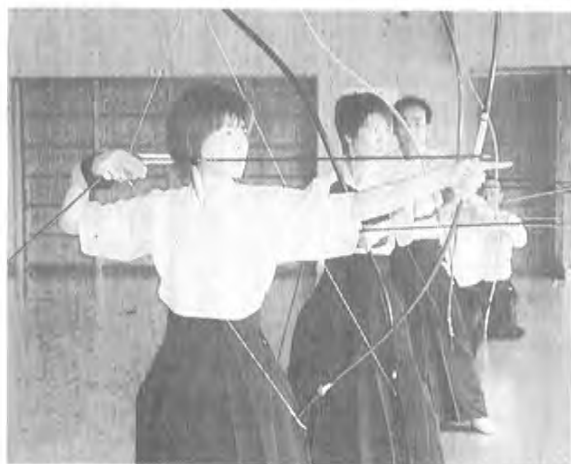
私と弓道の出逢いは職場で、勤労者県予選に出る為、出てくれる人を探していて声を掛けられた事です。

チームの人達は「中らなくてもいいから、その場に居てくれるだけで十分だから。」と緊張を感じさせないよう言ってくれ、私は『大会までだけなら』という気軽な気持ちで参加することにしたのです。

当日私は見事に八射〇中。毎年二チーム出場のところ、その年は四チームまでの枠だった為、競射で勝ち全国大会へ行って来れました。当時私は片目をつむってやっていました。会場では選手一人一人の会に入った姿を写真に撮って売られており、顔を赤くしながら買いましたが、今となっては貴重な思い出の一枚です。

予選に通らず悲しかったけれど、全国レベルを目の当たりにしてみても、うまくなりたい、また挑戦したいという気持ちが生まれ、弓道を続けていこうと思いました。

道場に赴く為冬の寒さを我慢する面



が自分にあつた事に驚きつつ、先生を始め周りの方に御指導をして頂きながら四年近く経ちます。また家族の理解もあり練習に打ち込む事が出来ました。今までいろいろな大会に参加し、強くなりたいたいと思つてやっています。最近思うことは、何かを諦めずに続けてきた人、続けていく人が本当の強さを持った人なのかと思うようになりました。そういった事をこれからも、弓道以外の実生活に生かしながら続けていけたらと思います。

弓道に出逢えて良かったです。誘つて下さった職場のNさんに感謝しています。

各地大会 結果報告

第38回県下弓道伊那大会

○7月20日/伊那市武道館弓道場

○参加者 186名

▼団体

- ①駒ヶ根(水田明美・笹岡達也・守矢寿美) ②伊那A(滋野一義・和田朋智毅・柴種徳) ③伊那西高A(中島朋子・福沢留美子・田村みどり)

▼個人

- 高校男子①北原祐樹(高遠) ②龍口真人(松川) ③小柄洞光(下諏訪向陽) ④井出裕太(下諏訪向陽) ⑤堀瞬(高遠)

- 高校女子①上原幸(下諏訪向陽) ②田村みどり(伊那西) ③伊沢真弓(伊那弥生ヶ丘) ④福沢留美子(伊那西) ⑤池上優子(高遠)

第15回安曇野弓道大会

○8月4日/豊科弓道場

○参加者 280名

▼団体

- 一般①安曇混成(松倉志・中村明里・中村尚子) ②松本(内野貴文・上

- 条徹也・遠藤和明) ③飯山(岡田宏之・河野利一・小山喜代二)

- 高校①岡谷南(小池雄・笠原綾乃・関真章) ②松本深志(久保田大介・早川昌平・上条圭太郎) ③塩尻志学館(吉池美奈子・柳沢南・大和瞳)

▼個人

- 一般①松倉志(松本深志教員) ②中沢弘幸(塩尻) ③丸山善男(安曇) ④岡田宏之(飯山) ⑤保刈明彦(松本)
- 高校①小笠原重弓(松商) ②下平将人(松本深志) ③久保田大介(松本深志) ④笠原綾乃(岡谷南) ⑤平沢悟(池田工業)

大町市制記念県下弓道大会

○9月1日/大町市運動公園弓道場

○参加者 132名

▼近的

- 一般団体①東伊那(水田明美・森田慶一・前沢秀夫) ②木曾義仲(松原重雄・林義泰・渡辺静夫) ③東部町(飛知和明弘・宮野雄介・吉沢金房)

- 一般個人(8射) ①林義泰(木曾義仲) 7中 ②飛知和明弘(東部町) 7中 ③前沢秀夫(東伊那) 6中

- 高校団体①池田工業(秋山直喜・細野友貴・平沢悟) ②塩尻志学館(和田

- 舞子・鳥海竜馬・征矢理啓) ③池田工業B(黒岩和希・鎌倉有成・飯島悟)

- 高校個人(8射) ①平沢悟(池田工業) 7中 ②和田舞子(塩尻志学館) 5中 ③降旗郁佳(大町) 4中

▼遠的

- 一般団体①東部町(飛知和明弘・宮野雄介・吉沢金房) ②塩尻(中沢弘幸・田嶋陽・伊藤公二) ③池田(大矢誠・吉野恒夫・曾根原登志男)
- 一般個人(8射) ①中沢弘幸(塩尻) 7中 ②吉沢金房(東部町) 6中 ③内野貴文(松本) 5中

- 高校団体①池田工業(秋山直喜・細野友貴・平沢悟) ②塩尻志学館(吉池美奈子・柳沢南・大和瞳) ③大町(佐藤友季・中島和恵・北沢伊織)
- 高校個人(8射) ①秋山直喜(池田工業) 6中 ②吉池美奈子(塩尻志学館) 5中 ③平沢悟(池田工業) 5中

第42回県下弓道大会

○9月7日高校・8日一般

○須坂市弓道場

○参加者 580名

▼高校の部

- 団体男子①長野商業(越石尊仁・太

- 田俊・山崎郁矢) ②北部A(山下真樹・畑山大樹・大槻純也) ③長野西B(小沼洋之・内村圭佑・塚田勇人)

- 団体女子①長野商業(近藤あゆみ・近藤かおる・津金真希) ②長野西C(小林洋子・植村睦・金子早苗) ③篠ノ井F(有賀由香里・牛澤紗奈恵・深澤教子)
- 個人男子(8射) ①峯嶋伸行(長野日大) ②荒井佑太(長野日大) ③太田俊(長野商業) ④大槻純也(長野西) ⑤山崎郁矢(長野商業)

- 個人女子(8射) ①有賀由香里(長野商業) ②高沢古結未(飯山) ③鈴木裕美(長野日大) ④植村睦(長野西) ⑤中田史子(屋代)

- ◆近的
- 団体①東北(水沢良宣・飛知和明弘・永藤聡) ②北中南(小椋一二三・木村由紀子・清水和代) ③飯山(岡田宏之・小田切雄一郎・小山喜代二)
- 個人(16射) ①飛知和明弘(上小) ②水澤良宣(上小) ③水田明美(上伊那) ④細田尚(長野) ⑤内野貴文(松本)

◆遠的

- 個人(8射) ①永藤聡7中(須高)
- ②中沢弘幸6中(塩尻) ③清水和代6中(飯山) ④長沢克彦6中(諏訪) ⑤寺島秀人6中(大北)

第19回無相大師奉賛大会(高校の部)

- 9月15日/中野市営弓道場
- 参加者 430名

▼団体

- 男子 ①篠ノ井(嶋田恵助・小山田裕樹・加々美智光) ②長野西(小沼洋之・塚田勇人・内村圭佑) ③篠ノ井C(小山泰利・平林大樹・小林弘幸)
- 女子 ①長野西(小林洋子・田村千恵・樋口綾子) ②篠ノ井(原田美和子・瀧澤渚・丸山恵) ③長野日大(鈴木裕美・杉江美香・中沢萌末)

▼個人

- 男子 ①加々美智光(篠ノ井) ②小林弘幸(篠ノ井) ③小沼洋之(長野西)
- 女子 ①高橋咲子(飯山北) ②樋口綾子(長野西) ③鈴木裕美(長野日大)

第44回塩尻市武道大会弓道競技会

- 9月15日/塩尻市営弓道場

- 参加者 210名

▼団体

- 高校 ①松本深志A(小松香織・大久保牧子・滝沢志織) ②松商学園(石川圭吾・小岩井健司・山崎拓哉) ③松本深志B(久保田大介・早川昌平・上條圭太郎)
- 一般 ①混合(名取吉幸・岡村操・大川健) ②菁莪館(広田義照・中村久美・土川俊市) ③源流館(小池正夫・奥谷俊和・正沢好成)

第1回長野県弓道大会in長野

- 9月16日/長野市営弓道場
- 参加者 137名

▼団体(24射)

- ①駒ヶ根21中(水田明美・山岸稔員・小沢剛志) ②中野土びな17中(田村信一・小林勝子・原田正浩) ③長野運動公園17中(塩原静雄・棚田千鶴・小林義行)

▼個人(8射)

- ①小沢剛志8中(駒ヶ根) ②浜美香8中(諏訪) ③宮阪和久7中(中高)

第6回東部町弓道大会

- 9月22日/東部町弓道場
- 参加者 83名

▼団体 近的8射・遠的8射兼個人

- ①駒見レディース43中
- 個人 (水田明美・春日奈美子・竹村貴子・久保田智恵) ②上昇42中(高地美佐子・飛知和明弘・田中慶彦・水澤良宣) ③丸子体協31中(池内栄久男・高木涼子・宮川登・雨宮一明)

▼個人

- ①水田明美13中(上伊那) ②田中慶彦12中(上小) ③飛知和明弘12中(上小)

投稿のお願い

○論文・随筆、大会観戦記、各地区の話題、俳句・短歌などなんでも募集いたします。

○広報への建設的なご意見・感想もお寄せください。編集会議で検討させていただきます。積極的に、広報編集に反映させて参ります。

○宛先は、各地区の広報部員まで。

編集後記

「弓道ながの」第3号をお届けします。暑い夏の7月27日に編集会議を開催したのが、嘘のような涼しい秋となりました。

会員の皆様方から広報に対するいろいろなご意見をいただきました。貴重な反省材料として、今後の紙面編成に反映させて参ります。

投稿希望の方もいるとお聞きしました。「投稿のお願い」が掲載されますのでご覧下さい。

(百瀬 正)



□8人立道場2射場
□30名兼合宿可能

さわやかな……
信州西軽井沢
雄大な浅間山に抱かれた
寺の谷宿道場

〒389-0201
長野県北佐久郡御代田町塩野481
TEL (0267) 32-2226
FAX (0267) 32-0300

大蔵